



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人

長野県立病院機構

[お問い合わせ先]
〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2

☎ **026-235-7160** (総務課)

☎ **0120-173-314** (採用専用フリーダイヤル)

E-mail saiyou@pref-nagano-hosp.jp

URL <http://www.pref-nagano-hosp.jp/>



こちらより
見学会・インターンシップの
申込ができます。

きっと見つかる私のステージ

長野県立病院機構 看護職員募集

Nagano Prefectural Hospital Organization Recruiting Guide

- ♥ 信州医療センター
- ♥ こころの医療センター
駒ヶ根
- ♥ 阿南病院
- ♥ 木曽病院
- ♥ こども病院

つながる看護の夢、
わたしの未来。



地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人

長野県立病院機構

地域医療を支える 5つの病院が、 看護の夢を 後押しします

目標

県民の皆様により安心で質の高い医療サービスを安定的に提供していきます。

基本理念

1. 基幹病院として地域の医療を支えるとともに、人口減少や少子・高齢化を見据えた医療を提供します。
2. 医療・保健・福祉との連携を深め、地域全体の医療機能を向上します。
3. 医療従事者の確保・育成機能の充実と看護人材の安定的かつ継続的な育成を図ります。
4. 安全・安心な医療を提供し、患者サービスを一層向上します。
5. 地方独立行政法人の強みを活かした確実な病院経営を継続します。

シンボルマーク



- 5枚のハートは5つの県立病院を表し、5つの県立病院が一体となって、地域の医療を支えていくことを表しています。
- マークのグリーンの色は、生まれ変わった県立病院の清新なイメージと自然豊かな長野県の地域を表しています。



地方独立行政法人
長野県立病院機構
理事長 久保 恵嗣

看護職員の成長が 長寿県長野の医療を支えています

長野県立病院機構は、長野県民の皆さまにより安心で質の高い医療サービスを安定的に提供していくことを基本理念に設立されました。医療は何よりもまず人材であり、看護職の果たす役割はますます大きくなってきています。

私たちは、それぞれの夢に向かってやる気あふれる看護職員を募集しています。

本機構は長野県内各地に5つの病院を配置しています。信州医療センター、こころの医療センター駒ヶ根、阿南病院、木曽病院及びこども病院です。

また、本機構は新しく勤務される皆さまを育てるために研修センターを設置しています。すべての職種を対象とし、教育的ノウハウや設備類を役立てて頂く開かれた組織です。ハワイ大学医学部 Sim Tiki simulation centerと連携して年間20名程度の職員を派遣してさらなる向上を目指しています。

この結果、方法的に整った研修が実施されるようになり、職員の資質は確実に向上しています。

皆さんが本機構の病院に勤務することにより、看護職員としての質が向上され、そして大きく羽ばたかれることを期待します。

長野県立病院機構は、
地域の医療を支えると共に、
優れた人材を育成するための
研修システムを構築。
職員の資質向上と
患者サービスの向上を
実現しています。



あなたを活かす 県内5つの病院



信州医療センター
病床数 / 338床
マップ



こども病院
(総合周産期母子医療センター)
病床数 / 200床
マップ



木曽病院
病床数 / 259床
マップ



こころの医療センター
駒ヶ根
病床数 / 129床
マップ



阿南病院
(地域医療総合支援センター)
病床数 / 85床
マップ

チーム医療

看護の専門性を活かして
チーム医療に貢献し
自らも成長しています。



呼吸ケアチーム

人工呼吸器装着患者へ早期離脱に向けた呼吸器の管理方法や、呼吸不全患者へ質の高いケア提供を目的とした専門チームです。医師・看護師・医療技術職員など、多職種が知識を持ち寄り、毎回の診察を行い、患者さんの治療方針やケアについて検討しています。

チームメンバー
として専門性、
自立性を磨く

最良の医療を
提供するための
チーム医療

チーム活動は
協調性、役割能力を
育む

研修センター

一人ひとりに合わせた
プログラムで
やる気を応援します



スキルスラボ

スキルスラボにはさまざまなシミュレータが設備されており、採血や吸引その他の基本的な手技についてのトレーニングやシミュレーショントレーニングができるように専任の看護師が研修をサポートできる体制をとっています。



ハワイで最先端のシミュレーション医学教育を学ぶ。

ハワイ大学医学部の「SimTiki simulation center」は、アメリカで唯一の日本の医療従事者向けの研修コースが設けられている医療シミュレーションセンターです。長野県立病院機構では、同センターと提携して研修を毎年実施し、シミュレーション医学教育の指導者の育成を行っています。



SimTikiにてシミュレーション体験中。学習者と指導者ともに体験し「効果的なシミュレーション教育とは」について学びます。

多職種で協働する看護師



栄養サポート

食べることは楽しみの一つであり、QOLの面からも重要です。栄養サポートチームは患者さんの栄養アセスメントを行い、患者さんに最適な栄養管理法を提言します。
(写真：信州医療センター)



災害派遣医療

災害急性期の被災地での医療は時間との勝負です。いつでも出動できるように医師・看護師・調整員で構成されるチームが待機しています。
(写真：木曽病院)



救急シミュレーション

BLSや小児2次救命処置について、院内各部署で、定期的にチームトレーニングを行っています。
(写真：こども病院)



在宅支援

専門スタッフがチームを組み巡回診療や訪問診療などを通じて直に触れ合うことで、患者さんの自宅での生活を支えています。
(写真：阿南病院)



感染対策

職員の感染予防への意識を高めるために、多職種でチームを組み、手洗いの方法や作業環境などの点検を行っています。
(写真：こころの医療センター 駒ヶ根)



スキルスラボ研修

本部研修センターは、独自のスキルスラボに各種最新のシミュレーターを取り揃え、新人看護職員に対する看護技術研修プログラムを構築。また研修センター専任の看護師が各病院の教育研修担当者や相談・協力して皆さんのスキルアップを手助けしています。



シミュレーション研修

ハワイSimTiki研修の受講者を中心にさまざまな場面設定をしたシナリオを作成し、各病院内で「自ら学び自ら考え行動できる」人材を育成するためにシミュレーション教育を行っています。



新人看護師多重課題研修

臨床現場の中で起こる様々な出来事を題材にシナリオを作成し、シミュレーションで体験することで、多重業務が生じた時の対応方法について学びます。

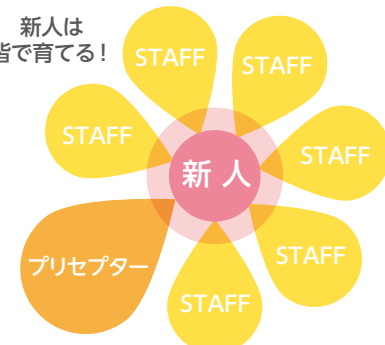
+ Educational Schedule 教育 スケジュール

きめ細かな教育プログラムで
 確実なステップアップを
 支援します。

研修センターは正確で安全な看護技術、看護実践能力を身につけるサポートをしています。また、看護職の成長を促す段階的、継続的な教育プログラムを企画・運営をし、各病院の研修計画も支援しています。

プリセプターシップ

「新人は皆で育てる!」を合言葉に職場全体で後輩育成に取り組んでいます。プリセプターが中心となり、病棟スタッフ全員で新人が職場に適應できるように応援し、分からないことは一緒に解決策を考え、課題を一つずつクリアできるようサポートします。例えば信州医療センターでは「カンガルーシステム」と名づけてひとり立ちまで見守るなど、病院ごとに教育体制を工夫し、後輩育成に適した環境を目指しています。



勤務3年目研修

勤務3年目の職員を対象に自己の成長と課題を明確にするために、入職後の仕事を振り返り、今後求められる役割について考え、仕事を進める上で必要なスキルについて学びます。



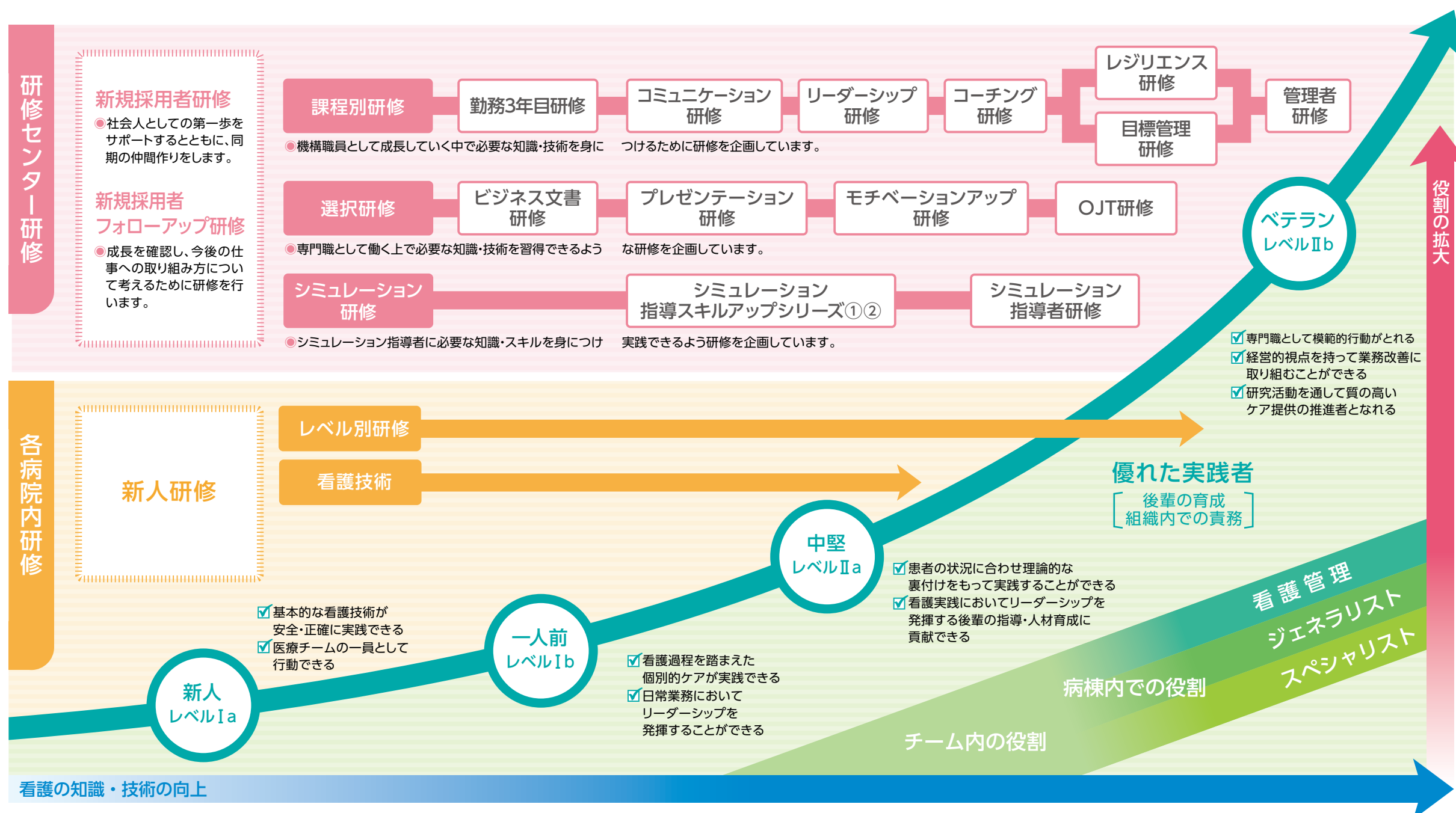
シミュレーション指導スキルアップシリーズ①②

シミュレーション教育を指導する上で、必要な知識やスキルを向上させるための研修を実施しています。



コーチング研修

自主的・主体的に行動する部下を育成するために部下の考えを「引き出す」コーチングスキルを習得することを目的に研修を実施しています。



Development Support of a Carrier

キャリア開発支援

専門・認定看護師

看護師としての
キャリアが発展していく
道があります。
よりよい看護を
めざす人に――。

信州医療 センター	認定看護管理者	1名
	救急看護	2名
	手術看護	1名
	糖尿病看護	1名
	皮膚・排泄ケア	1名
	感染管理	2名
	摂食、嚥下障害看護	1名
こころの 医療センター 駒ヶ根	がん化学療法看護	1名
	認知症看護	1名
	精神科認定看護師 (内訳)	3名
	精神科薬物療法	1名
	薬物・アルコール依存症看護	1名
阿南病院	児童・思春期精神看護	1名
	認知症看護	1名
	認知症看護	1名
	認知症看護	1名
	認知症看護	1名
木曽病院	認知症看護	1名
	認定看護管理者	1名
	皮膚・排泄ケア	1名
	緩和ケア	1名
	感染管理	1名
	がん性疼痛看護	1名
	がん化学療法看護	1名
こども病院	認知症看護	1名
	糖尿病看護	1名
	小児看護専門看護師	2名
	認定看護管理者	1名
	皮膚・排泄ケア	2名
	感染管理	2名
	新生児集中ケア	3名
	小児救急看護	2名
	がん化学療法看護	1名
	手術看護	1名
	緩和ケア	1名

■ キャリアアップ制度

【大学院進学支援】

働きながら大学院等へ進学できる「修学部分休業制度」、「自己啓発等休業制度」があります。看護協会、自治体病院協議会および関連学会で開催される研修会参加を積極的に支援し、皆さんの学び意欲に応えています。

【専門看護師・認定看護師支援】

看護水準の向上を図るため、専門看護師、認定看護師の資格取得の支援および資格取得後の実践活動のための支援を行っています。

【学会、研究会発表の参加支援】

学術集会や研究発表会への参加を積極的に支援し、最新の知識や技術を学ぶ機会を提供しています。また、多職種合同での研究発表会を定期的に開催し、他職種への理解を深め、組織全体の成長に繋げる取り組みを実践しています。

【2016年度看護教員養成講習会受講生】



信州木曽看護
専門学校
古田 育子

私は、病院勤務で学生の実習指導を行う中で、新しい発見がたくさんあることに魅力を感じ、看護教員養成講習会に参加しました。講義やグループワークを通して学ぶことの楽しさを改めて感じ、この機会をいただけたことに感謝しています。今後は、研修での学びを生かし学生に「看護の楽しさ・やりがい」を伝えていきたいと思っています。

看護の プロフェッショナルたち

特定分野で活躍する看護師。
高水準の看護を通し、指導にあたります。



認知症看護認定看護師【2014年認定】
西森 則子 阿南病院

認知症があっても「安心」して 入院できる病院を目指して…

認知症看護認定看護師として2012年から活動を行っています。この地域は、高齢化率も高く、必然的に認知機能の低下した方が入院患者に多く見られます。通常の生活では自立出来ていた方が、「入院」というストレスのため、生活行動が行えなくなる事が多いのが現状です。認知症の方の「不安」を感じ、「意思」を尊重した看護を提供できるよう認定看護師として活動を行っています。

がん化学療法看護認定看護師【2014年認定】

安藤 淳子 信州医療センター

治療をしながら、その人らしい生活が送れるように。

がん宣告を受け精神的につらい中でも、抗がん剤治療を選ばれた方が、安全で確実に、安心して治療が継続できるように、スタッフ指導や日々の外来化学療法を実施しています。治療のために、生活のすべてを変えるのではなく、制限がある中でも『その人らしい日常生活』が送れるように共に考え、寄り添った看護をしたいと思っています。



精神科認定看護師【2016年認定】

熊谷 照美
こころの医療センター 駒ヶ根

子どもの成長に寄り添う 看護を目指して

子どもの成長に寄り添いながら看護する喜びを感じ、精神科認定看護師の資格を取得し、児童・思春期精神看護領域で活動しています。困難な状況にある子どもを理解し、治療と療育の総合的観点から多職種と協働し、学校や児童相談所等地域との連携を図りながら支援しています。



糖尿病看護認定看護師【2014年認定】

赤堀 美奈子 木曽病院

患者さんの自分らしい生活を考え、 寄り添う。

糖尿病を抱えながら生きる患者さんと今後の生活や目標と一緒に考え、自分らしく生活できるように寄り添った看護を行っていききたいと思います。現在はフットケア外来や糖尿病教室などを行っています。

手術看護認定看護師【2015年認定】

前田 奈美 こども病院

医療倫理・看護倫理を遵守し、 患児の代弁者となる

こども病院は小児専門病院であり、手術室での治療は、ほとんどが全身麻酔下で行われます。看護師として倫理的感受性を高め、意思表示が困難である患児の代弁者となり、患児や家族の思いを手術の現場に反映させることを目指しています。また、手術看護の質の向上、日々進歩する医療技術に対応できる専門的知識・技術を身に付け、安全で質の高い医療を提供できるようスタッフ教育にも努めています。



現場で活躍する新人看護師



信州医療センター
南5階病棟
(2016年入職)

患者さんと関わる中で多くのことを学ばせていただき、自分の未熟さを感じつつも毎日が充実しています。時には辛いことや不安になってしまうこともあります。患者さんの笑顔や先輩方の優しく丁寧な指導が大きな支えとなっています。今後は患者さんに寄り添った思いやりのある看護を提供できるよう努力していきたいと思っています。



こころの医療センター
駒ヶ根
A1病棟
(2016年入職)

精神科看護は、その人らしく生きていくためのお手伝いが出来る仕事だと考えています。こころの医療センター駒ヶ根は、一人ひとりの患者さんと向き合いながら看護ができる病院です。日々の中で、悩み考える事もありますが、スタッフの方々に相談し支えられながら看護を行っています。その中で、自分自身も成長していきたいと思っています。



阿南病院
第4病棟
(2015年入職)

看護師として2年目となり、仕事への自信も増えましたが、まだ自分だけで判断できないことや分からない事もあります。看護は日々が勉強です。分からない事をそのままにせず、理解できるまで学習する事が大切です。積極的に質問や自己学習を行い、知識を吸収できるように頑張っています。



木曽病院
3階北病棟
(2016年入職)

自分が育ってきた地域に少しでも貢献し恩返しができればと思い、郡内唯一の病院である木曽病院に就職しました。日々勉強でまだまだ課題が多くありますが、優しい先輩方、患者さんの言葉や笑顔に支えられながら、これからも努力し成長していきたいと思っています。



こども病院
第5病棟
(2017年入職)

こども病院は小児疾患に対する高度な治療が行われている中にも、温かな雰囲気があります。毎日やりがいを感じつつ、小児看護の難しさに自分の知識・技術不足で落ち込むこともあります。患児の笑顔とご家族の言葉にいつも元気を貰っています。これからも、患児とご家族の思いに寄り添い、一緒に頑張る力になれるように成長していきたいと思っています。

Nagano Prefectural Shinshu Medical Center

信州医療センター

患者さんを中心に、地域の皆さんと手をつなぎ、
より良い医療を目指して一步一步進んでいます。

TEL. 026-245-1650(代)

〒382-0091 長野県須坂市大字須坂1332 <http://www.pref-nagano-hosp.jp/suzakahosp/> shinshu-med-cent@pref-nagano-hosp.jp

2017年7月新棟オープン(内視鏡センター、健康管理センターなど)



Nagano Prefectural Mental Wellness Center-Komagane

長野県立 こころの医療センター 駒ヶ根

地域にひらかれ、自然豊かな環境で、
患者さんやご家族に寄り添い、
共に考え実践できる精神医療を目指しています。

TEL. 0265-83-3181(代)

〒399-4101 長野県駒ヶ根市下平2901 <http://kokokoma-hosp.or.jp/> komagane@pref-nagano-hosp.jp



看護部の理念

私たちは、信頼される
心のこもった看護を提供します。



新人教育



内視鏡センター



感染症病棟への患者受け入れ訓練



看護部長
佐藤 香代子

信州医療センターは、県立病院の中核病院として、感染症医療などの提供や県立病院の医療を担う人材の育成をし、長野医療圏だけでなく、県全体の医療に貢献しています。2017年7月には、内視鏡検査、外来化学療法などを充実させた新棟がオープンし、より地域の皆さんから信頼される心のこもった寄り添う看護を提供してまいります。地域との絆を大切にしながら、長野県全体の医療・看護を信州医療センターから支えていきましょう。

看護部の理念

- 1 私たちは、患者さんの立場を尊重し、信頼される看護サービスを提供します。
- 2 私たちは、社会的視野を広め、質の高い専門性の追求に努めます。



CVPPP(精神科でおこりやすい暴力等に対して適切に介入する技術訓練)



デイケア活動としての茶道



カンファレンス



看護部長
竹内 玲子

「患者さんの立場を尊重する」を第一に考え「質の高い専門性の追求」の実現のために医療者として常に患者さんに関心をよせ、学び最善をつくす姿勢が求められます。精神科看護の神髄は「人とかかわり」そのものにあります。看護師自身が患者さんと共に成長していけるのが、精神科看護の魅力です。人が人を支えることの意味や喜びを一緒に追求し、実践してみませんか。



先輩からのメッセージ

南4階病棟
(2015年入職)

看護の楽しさや 難しさを感じます

初めは慣れない環境と業務の中で精一杯の状況でしたが、先輩の温かく優しい指導を受けながら、日々患者さんと関わり、看護の楽しさを実感しています。責任が重く大変な事も多くありますが、それ以上にやりがいを感じ、誇りを持って勤めています。

トピックス

認知症 サポートチーム



入院生活は、患者さんのストレス・夜間の不眠や情緒の不安定・一時的な認知障害を招く原因になることがあります。数時間でもベッドを離れ、穏やかな入院生活を過ごしていただくために、週1回院内デイケアを行っています。



先輩からのメッセージ

外来
(2015年入職)

患者さんを 理解することの大切さ

精神科の看護では、急性期から回復期に向けて、そして安定した地域生活を送れるよう、患者さんのことを支えるケアをしています。患者さんの人となりや取り巻く環境を理解し、その人にあった関わりをする重要性を日々実感しています。患者さんやご家族、自分自身も笑顔になれる看護を志しています。

トピックス



長野県立こころの医療センター駒ヶ根 開設60周年

開設60周年を記念して、花桃60本を職員全員のところを込めて植樹しました。いずれ花桃が、大きく成長し、綺麗な花を咲かせて患者さん、地域の皆様や職員の心を癒してくれることを願っています。

Nagano Prefectural Anan Hospital

長野県立阿南病院

地域とともに歩みながら、
やさしさと思いやりのある医療・看護を提供し、
地域の方から『いつでも頼れる病院』を
目指しています。

TEL. 0260-22-2121 (代)

〒399-1501 長野県下伊那郡阿南町北條2009-1 <http://anan-hosp.jp/> anan@pref-nagano-hosp.jp



看護部の理念

- 1 患者さんの尊厳と権利を大切に、安全で安心できる医療環境の提供に努めます。
- 2 個性を尊重し、地域に密着した継続性のある看護を提供します。
- 3 質の高い看護の提供のために、自己研鑽と教育の充実に努めます。



訪問診療



ナースステーションにて



新人研修



看護部長
小林 園枝

飯 田市よりも南、長野県最南端にある阿南病院です。温和な気候だからでしょうか、患者さんも病院職員も穏やかで、温かい人が多いと感じる土地柄です。病院内だけでなく、巡回診療・訪問看護等、病院内にも積極的に出て地域に根ざした医療、看護を目指しています。そのような中で患者さん一人ひとりと向き合いながら、基礎から看護を学んでみませんか。



患者さんの「ありがとう」や笑顔が力の源

様々な患者さんと関わる中で、難しさや悩みを感じることもあります。しかし、患者さんから「ありがとう」と言われることや笑顔で退院する姿が、日々仕事を続ける力の源です。患者さんの感謝の気持ちに応えるため、優しさや思いやり、笑顔を大切に、これからも看護を続けたいと思います。

先輩からのメッセージ

第3病棟
(2014年入職)

トピックス

地域医療とこどもたち



2014年から、近隣の中学校で、中学生に一次救命を指導しました。指導後「本番でも頑張りたい」と凛とした表情が印象的でした。当院周辺は高齢化が進んでいます。子どもも命を助けるお手伝い出来る地域になればと思います。

Nagano Prefectural Kiso Hospital

長野県立木曽病院

患者さんやご家族に寄り添い、
安心できる医療の提供と地域に
愛される病院を目指しています。

TEL. 0264-22-2703 (代)

〒397-8555 長野県木曽郡木曽町福島6613-4 <http://www.pref-nagano-hosp.jp/kisohosp/> kiso@pref-nagano-hosp.jp



看護部の理念

私たちは、患者さん一人ひとりを尊重し、温かい心で
質の高い看護を提供します。



木曽病院祭



新人研修



ナラティブ発表会



看護部長
中村 敦子

木 曽地域唯一の総合病院として、いつでも誰でも安心してかかれる病院を目指しています。当院では、急性期から終末期まで全ての方を受け入れ、在宅看護、災害看護などにも力を入れています。スタッフのみならず、患者さんも温厚であり、当院を応援してくださる「守る会」も発足されています。地域の方に愛される病院をめざし、暖かい人間関係の中で一緒に看護のやりがいを見つけませんか。



先輩方から温かく見守って頂いている安心感があります

急性期から終末期まで、様々な患者様との関わりの中で、ひとりひとりの想いに寄り添った看護とは何か、日々学ばせて頂いています。一人立ちしてからも、先輩方から温かく見守って頂いている安心感があり、改めて木曽に帰ってきて良かったと感じています。

先輩からのメッセージ

4階病棟
(2013年入職)

トピックス

6分野の認定看護師が、院内や地域で大活躍



認定看護師が、地域の介護・福祉職員とともに、介護技術の向上とネットワークづくりを目指した介護セミナー等を開催しています。また、院内研修に各認定分野の専門コースを設け、看護師のキャリア開発支援をしています。

Nagano Children's Hospital

長野県立こども病院

(総合周産期母子医療センター)

県内の小児医療最後の砦。
未来を担う子ども達のために、
質が高く、安全な医療を行います。

TEL. 0263-73-6700 (代)

〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 <http://nagano-child.jp/> ✉ kodomo@pref-nagano-hosp.jp



看護部の理念

私達はこどもの権利を尊重し、
子ども達の未来につながる看護を提供します。



新生児病棟



新人研修



ドクターカーとコンパクトドクターカー



看護部長
斎藤 依子

北 アルプスの山々を望む自然豊かな安曇野に建つ赤い屋根のこども病院。小児・周産期の専門病院として、県内外から来院される患者さんとその家族への看護を提供しています。急性期から在宅医療まで、そして胎児から成人移行期まで、こどもの成長を支援し最善の医療は何かを常に考えながら多職種と協働してチーム医療に努めています。未来ある子ども達が最適な健康状態で、その子らしい生活ができるような支援を一緒に実践していきましょう。



先輩からのメッセージ

PICU
(2014年入職)

元気になった姿が私のやりがい

集中治療室では、手術後や病気が悪化した急性期の患者さんを看ています。一刻も早く回復できるように異常の早期発見に努め、様々な医療スタッフと協力して看護することを心がけています。集中治療室は患者さんの状態が良くなると病棟へ移動となるため、患者さんや家族と関わる時間は病棟に比べると短いですが、元気になった姿を見るときとても嬉しく、仕事のやりがいになっています。まだ経験も浅く未熟なため日々の学びを深めながら、患者さんや家族の思いを傾聴して、質の高い看護を提供できるようにしていきたいです。

トピックス



PICUの増築・増床

「こども病院のPICU」には、長野県内のすべての小児重症患者診療を担う使命があります。その目的を果たすために2017年9月1日よりPICUを8床から12床に増築・増床して診療を開始しました。ホスピタルアートを施した新しい病棟で、常時2:1看護体制による手厚い看護を提供しています。